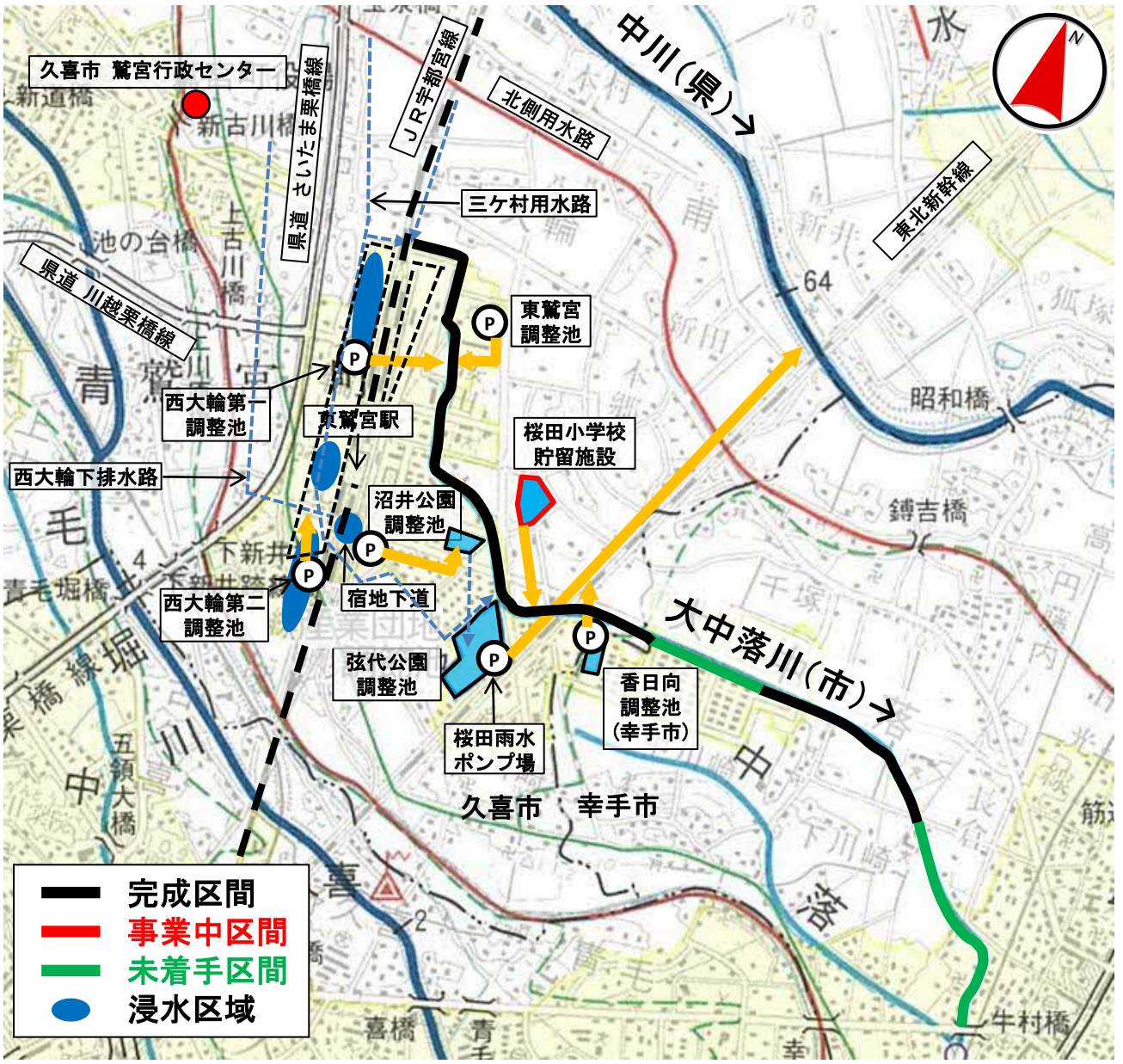
河川と下水道が連携して対策を行う取組（久喜市） ①

資料 1

位置図



浸水被害の状況

JR東鷲宮駅西口

浸水被害の状況

宿地下道

連携施策

〔大中落川流域（西大輪地区、宿地下道など）〕

（赤）：事業中、またはすぐに事業着手可能な施策
（緑）：検討のうえ事業化を目指す施策
（青）：事業が完了した施策

○現状・課題

・東鷲宮駅東部及び西部は、区画整理事業に伴う開発調整池及び雨水管渠の整備が完了している。
・県道さいたま栗橋線からJR宇都宮線に向かって勾配がついており、 JR宇都宮線沿いの低地で道路冠水が生じている。
・西大輪地区に降った雨は、西大輪第一調整池及び西大輪第二調整池に貯留した後、ポンプ周辺の水路から大中落川に自然排水しているため、大中落川の水位状況により道路冠水の解消に時間を要する。
・大中落川流域の整備について、下流区域を管理する幸手市及び倉松川を管理する埼玉県との調整が必要となる。

●施策

・流域市と連携した大中落川の河川計画の検討（市）
・大中落川流域内の既設の調整池（弦代公園調整池など）を活用した管理及び運用（市）
・大中落川流域内の調整池から大中落川への排水量の検討（市）
・西大輪地区外から流入する農業用水の流入量調査及び管理者との調整（市）
・大中落川の浚渫の検討（市）
・桜田小学校の校庭における流域貯留施設の設置工事の実施（市）
・桜田雨水ポンプ場施設の健全度調査の実施及び運転規則の検討（市）
・倉松川の河川改修の推進（県）

※その他、ハザードマップの周知・活用を図る